

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 7 月 23 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議において、内容がマンネリ化している。ヒヤリハット・事故・行事の報告が主な内容になり、会議を地域との関わりに活かしていない。	基本の報告事項は報告しつつ、参加された方にグループホームをより理解して頂けるようなイベントを行っていく。	職員の研修内容の発表などグループホームの特性や専門性をアピールする。グループホーム内を「案内会」等のイベントを設けて周知を図る。	24ヶ月
2	20	入居者様の情報を把握しているが、細かな情報は職員全員の情報となっていない物もある。	細かな情報も入居者様のケアに繋がる事から、情報を一まとめにして、職員全体で共有する。	基本情報である「略歴」「身体状況」「アセスメント内容」の他に、「コミュニケーションの中で知ることの出来た情報」に分け、漏れなく記載できるようにする。	24ヶ月
3	35	2ヶ月に1度の夜間想定避難訓練・年2回の総合避難訓練を行っている。独自のマニュアルを作成し避難経路などの見直しを行っている。しかし地域との避難訓練の実現に至っていない。	地域住民と、合同で避難訓練を行う。	町内会の集まりなどに参加させて頂き、避難訓練の参加を呼びかける。	24ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。